

UCCX の TLS サポートの処理の TechNote

目次

[概要](#)

[サーバとして UCCX 機能](#)

[クライアントとして UCCX 機能](#)

[TLS 1.0 サポートは非難されています](#)

[次の手順](#)

[TLS サポートマトリックス](#)

[現在のサポート](#)

[次のリリース](#)

[SocialMiner および TLS サポート](#)

[11.5\(1\)SU1](#)

[11.6](#)

[FAQ](#)

[TLS サポートをソリューションのために必要とされて得る方法か。](#)

[Salesforce が TLS 1.0 サポートを取除き、Client 要求のための TLS だけ 1.0 サポートするバージョンにあれば、Salesforce システム障害に要求しますか。](#)

[利用できる TLS 1.0 サポートはセキュリティリスクです。UCCX ソリューションから TLS 1.0 を完全に取除くことができますか。](#)

[UCCX に出入する各接続は前述の TLS 変更に適当ですか。](#)

[シスコのドキュメントおよびサービス リクエストを入れることを得ます](#)

概要

Cisco Unified Contact Center Express (UCCX) がサードパーティアプリケーションと統合の異なる型のために Transport Layer Security (TLS) をどのように使用するかこの資料に記述されています。これらの統合は UCCX がクライアントとして機能するか、または UCCX がサーバとして機能するところにあることができます。

Abhiram Kramadhati によって貢献される、Cisco 設計。

サーバとして UCCX 機能

UCCX がサーバとして機能し、リモートパーティが通信するとき TLS 1.0、1.1 か 1.2 を使用します、UCCX は互換性がある TLS バージョンに基づいて統一された CCX バージョンの通信が可能です:

1. 統一された CCX 10.6 - TLS 1.0、1.1 および 1.2
2. 統一された CCX 11.x - TLS 1.0、1.1 および 1.2

これらは統一された CCX システムの API サービスがサードパーティアプリケーションによって利用される統合です。

クライアントとして UCCX 機能

UCCX はクライアントとして機能するとき、サービスを呼び出すようにサードパーティサーバを要求するか、または情報を得ます。一般的な例は、この場合、CRM 統合のための Salesforce システムへ統合です。要求はどちらかからである場合もあります:

1. 統一された CCX スクリプト
2. Finesse 作業の流れ
3. Finesse 小道具

UCCX バージョン 10.x では、11.0(1) および 11.5(1) は、統一されたとき CCX TLS 1.0 をデフォルトで使用するこの要求を呼び出します。サードパーティサーバは TLS 1.0 を使用して通信できるはずですがさもないと通信は失敗します。

TLS 1.0 サポートは非難されています

TLS 1.0 のためのサポートは多くのアプリケーションプロバイダーによって非難されます。TLS 1.0 (および TLS のアベイラビリティの通信 1.0) 多くの組織によって脆弱性として考慮されません。

最新発表は Salesforce からこの点でありました

: <https://help.salesforce.com/articleView?id=000221207&type=1>。これは Salesforce と統合 UCCX がある UCCX 顧客に関連しています。2017 年 2 月 17 日のように、Salesforce は彼らが TLS 1.0 のためのサポートを取除くことをアナウンスしました:

新しい配備: デフォルトでディセーブルにされる TLS 1.0

サンドボックス環境/開発者システム: 9:30 AM PDT (16:30 UTC) の 2016 年 6 月 25 日 TLS 1.0 無効ポスト、

稼働システム: TLS 1.0 無効ポスト 2017 年 7 月 22 日

これは TLS 1.0 を使用して Salesforce システムに Web 要求を呼び出す UCCX ソリューションが、これらの日付を掲示しないことを意味します。

注: 同じロジックはそのよう統合に適用します。Salesforce は発表をこの点でした 1 人のそのようなベンダーです。

次のステップ

TLS を使用する統合がそこによってにあれば、下記の表は統一された CCX のバージョンを表します統一されたとき CCX 統一された CCX 統合に TLS 1.1 および 1.2 サポートをであるクライアント (Salesforce 統合) および統一された CCX からの TLS 1.0 の完全にまた削除提供する。

TLS サポートを提供する顧客は下記に述べられるバージョンにアップグレードすることを計画する必要があります環境に必要である。同じのために利用可能な エンジニアリング スペシャルがありません。

現在の顧客 UCCX がクライアントのとき TLS 1.1、1.2 サ UCCX からの TLS 1.0 削除のためのリリ

リリース	ポートのためのリリースを目標として下さい	ースを目標として下さい
10.0	10.6(1)SU3	11.5(1)SU1
10.5	10.6(1)SU3	11.5(1)SU1
10.6	10.6(1)SU3	11.5(1)SU1
11.0	11.5(1)SU1	11.5(1)SU1
11.5	11.5(1)SU1	11.5(1)SU1

上のリリースのための ETA はまだ確認されていませんが、Salesforce 死回線の前にあります。それらは [cisco.com Software Download](https://www.cisco.com/Software-Download) ページで送達されます。

TLS サポートマトリックス

現在のサポート

UCCX ソリ ーション バージョン	TLS バージョン場合のサーバとして機能する UCCX	TLS バージョン場合のクライアントとして機能する UCCX
10.6(1)SU2	1.0、1.1、1.2	1.0
11.0(1)	1.0、1.1、1.2	1.0
11.0(1)SU1	1.0、1.1、1.2	1.0
11.5(1)	1.0、1.1、1.2	1.0

次のリリース

UCCX ソリ ーション バージョン	TLS バージョン場合のサーバとして機能する UCCX	TLS バージョン場合のクライアントとして機能する UCCX
10.6(1)SU3	1.0、1.1、1.2	1.1、1.2*
11.5(1)SU1	1.1、1.2 [#]	1.1、1.2*
11.6(1)	1.2	1.2

*デフォルト

[#] SocialMiner についてのメモをここに参照して下さい

SocialMiner および TLS サポート

SocialMiner に前述のサポートマトリックスから離れてこれらの変更があります:

11.5(1)SU1

11.5(1)SU1 はまだ Exchange 2010 をサポートします。Exchange 2010 が TLS だけ 1.0 サポートするので、SocialMiner は TLS 1.0 を取除きません。サードパーティサーバが TLS 1.0 しか通信できない場合、ただし、すべての着信接続をセキュリティが危殆化されないこと確認することは TLS 1.0 をサポートしないし、発信接続だけ TLS 1.0 があります。さもないと、接続は TLS 1.1 および 1.2 で動作します

11.6

SocialMiner 11.6 に取除かれる TLS 1.0 があります。顧客が Exchange 2013 を使用する場合、デフォルトで Exchange 2013 は TLS 1.0 を使用し、SocialMiner が TLS 1.0 をサポートしないのですべての電子メール キャンペーンは失敗します。それ故に、顧客は 11.6 を使用し続けることができるように Exchange 2013 の TLS 1.1/1,2 を有効にする必要があります。これは 11.6 のためのリリース ノートおよびリリース前の通信で同様に documented。

FAQ

TLS サポートをソリューションのために必要とされて得る方法か。

上で表でリストされているようにバージョンにアップグレードする必要があります。特別な別途のエンジニアリングが警察官ファイルありません。

Salesforce が TLS 1.0 サポートを取除き、Client 要求のための TLS だけ 1.0 サポートするバージョンにあれば、Salesforce システム障害に要求しますか。

はい。実際は UCCX が TLS 1.0 の要求を送信し、ただ TLS 1.0 をサポートしないこれがバージョン 10.6(1)SU2 にあてはまれば、どのサーバでも UCCX を、11.0(1)、11.0(1)SU1、11.5(1) 使用しません。

利用できる TLS 1.0 サポートはセキュリティリスクです。UCCX ソリューションから TLS 1.0 を完全に取除くことができますか。

はい、UCCX 11.5(1)SU1 に前に外部 HTTPS 接続のために完全に取除かれる TLS 1.0 があります。

UCCX に出入する各接続は前述の TLS 変更に対応ですか。

これらの更新は HTTPS 接続だけのためです。JDBC 接続はまだ TLS 1.0 を操作できます。

シスコのドキュメントおよびサービス リクエストを入れることを得ます

ドキュメントの、サービス リクエストを入れ、その他の情報を収集する Cisco バグ 検索ツール (BST) を使用して取得の情報に関しては Cisco 製品ドキュメンテーションで新しいものを参照して下さい: <http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>。

Cisco すべての新しく、修正された技術文書をリストする Cisco 製品ドキュメンテーションで新しいものを、RSS 供給として定期講読して下さいデスクトップに読者 アプリケーションを使用してコンテンツを直接配信して下さい。RSS 供給は無料サービスです。

製品 IN この手動に関する仕様および情報は変更に応じて予告なしにあります。すべての文、情

報および推奨事項 IN は正確であるとの手動信じられますか一切の保証なしで示されますか、表現するか、または意味しました。ユーザは ANY 製品のアプリケーションに対する全面責任を奪取する必要があります。

伴う製品のためのソフトウェア ライセンスおよび限定保証は述べられた IN 製品と提供されたので、この参照によってここに組み込まれます情報 パッケージ。IF ソフトウェア ライセンスを見つけることができませんまたは限定保証によっては、COPY (ビット 0) に関しては CISCO 担当者が接触します。

TCP Header Compression の Ciscoインプリメンテーションは UCB の UNIXオペレーティングシステムのパブリック ドメイン バージョンの一部として University of California によって、バークレー (UCB) 開発されるプログラムの適応です。 All rights reserved. © 1981 年の、 University of California の 理事著作権をとって下さい。

ANY にもかかわらず他の保証これらのサプライヤーのここに、すべての文書ファイルおよびソフトウェアはすべてのエラーで「現状のまま」として提供されます。 CISCO および前述のサプライヤーはすべての保証放棄しますが、制限なしで、を含んで商品性の保証、特定の目的への適合性および対処、使用方法、または取引慣行のコースからの NONINFRINGEMENT または発生を表現されるか、または意味される。

いかなる場合も CISCO か サプライヤーは ANY 間接、特別な、必然かまたは、使用が不可能から起こる DATA への制限なしで、付帯的な障害のために責任を負うべき、を含んで失われた利益または損失または被害この手動を使用する CISCO か サプライヤー HAS そのような障害の可能性の助言されてでも。

この資料で使用される Internet Protocol (IP) アドレスおよび電話番号は実 アドレスおよび電話番号であるように意図されていません。 例示専用を示されていることを資料で含まれたことを例、コマンド ディスプレイ出力、ネットワーク トポロジ ダイアグラム、および他は計算します。 イラストラティブ コンテンツの実際の IP アドレスまたは電話番号のどの使用でも無意識および同時発生です。

すべての印刷された コピーおよび重複したソフトコピーは自由なコピーとみなされ、オリジナル オンライン バージョンは最新バージョンのために参照する必要があります。

Cisco に 200 以上のオフィスが世界的にあります。 アドレス、電話番号およびファックス番号は www.cisco.com/go/offices の Cisco Webサイトにリストされています。

Cisco および Ciscoロゴは米国および他の国の Cisco や関係団体の商標または登録商標です。 Cisco 商標のリストを表示するために、この URL に行ってください : www.cisco.com/go/trademarks。 述べられるサードパーティ商標はそれぞれ所有者のプロパティです。 ワード パートナーの使用は Cisco と他のどの会社間の協業関係も意味しません。 (1110R)

©2016 シスコシステムズ、バークリー All rights reserved.